

TPP交渉に関する意見書を国に提出しました。

TPP交渉は、10月5日に大筋合意となり、農林水産物の関税交渉は、関税区分の8割にも及ぶ品目において関税撤廃の結果となった。なかでも、農林水産物の重要5品目においては、特別輸入枠の設定や段階的な関税削減・撤廃が盛り込まれた。

また、事前に情報伝達もないまま、他の多くの品目での関税撤廃等が公表され、生産現場にはかつてない危機感と不安、そして不満の声が広がっている。

わが国がTPP交渉への参加表明を行ってから2年半にわたり、食料自給を揺るがしかねない極めて重大な問題であるとして、農産物の重要品目の取扱い等を定めた国会決議の実現を求めてきた。

今般、大筋合意はされたものの、まだ通過点に過ぎず、今後米国を中心とした各国の動向や国内での議論の状況等を注視し、国民の農業への理解が深まることを期待する。

については、これらの情勢・課題を鑑み、当町の基幹産業である農業の持続的発展の実現に向けて、下記の事項について強く求める。

記

1. 大筋合意の内容と国会決議との整合性について、十分かつ明確な説明を行うこと。
2. 生産者の不安を払拭し、将来にわたって国産食料の安定生産・安定供給と、食料自給率の向上がはかられ、地域の農業・農村振興に資するための万全な対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年12月16日提出



一般会計補正予算

1億7,658万円を増額・可決

ふるさと応援事業費など

一般会計予算総額は142億285万円に

ファイト一発! ふるさと白石

ふるさと応援事業 (10,699万円)

ふるさと納税による寄附金の大幅な伸びが見込めるため、基金積立と返礼にかかる費用を増額。またPR拡大に伴う広告料が追加されました。
〔担当課 企画財政課〕

ピックアップ



できることから始めよう! ごみ減量化

指定ごみ袋等作成業務 (366万円)

平成28年4月1日からの指定ごみ袋の価格改定により、新しいごみ袋、粗大ごみシールを作成します。
〔担当課 生活環境課〕

地域で築く開かれた学校づくり

コミュニティ・スクール導入促進事業 (47万円)

塾議や協働のもと信頼される開かれた学校づくりを目指して、学校運営協議会を設置し、実践を通じて調査や研究を行う。
〔担当課 学校教育課〕

放課後児童健全育成事業が拡充されました

放課後児童健全育成事業負担金徴収条例の一部を改正

継続参加・一時参加の場合で延長利用部分(土曜日除く)が追加

午後6時～6時30分まで 月額 500円

午後6時～7時まで 月額 1,000円

申込時間を超過して利用した場合 30分ごとに 50円

〔担当課 保健福祉課〕

賛否一覽

議案番号	議案	結果	賛成...○ 反対...● 欠席...-																
			川崎一平	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	片淵彰	草場祥則	片淵米二郎	久原久男	秀島和善	井崎好信	大串弘昭	内野さよ子	西山清則	岩永英毅	溝上良夫	久原房義
59	個人番号の利用に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	放課後児童健全育成事業負担金徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	有明スカイパークふれあい郷の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
64	交流館の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	佐賀県西部広域環境組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	平成27年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	平成27年度農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	平成27年度特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	平成27年度水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告8	専決処分の報告(和解及び損害賠償額の決定)	報告	/																
報告9	専決処分の報告(和解及び損害賠償額の決定)	報告	/																
報告10	専決処分の報告(和解及び損害賠償額の決定)	報告	/																
請願4	TPP交渉に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議4	TPP交渉に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。



平成27年12月定例議会には、
 12月9日⇒3人
 12月10日⇒31人
 12月16日⇒2人の傍聴者がありました。
 皆さん 議会のように見えに来て下さいネ!

問 有明沿岸道路建設に伴い周辺の整備を

答 供用開始に合わせて整備について

議員 町長は、沿岸道路建設に伴い地域の振興を考えていると思うが、具体的な考えは。

町長 この白石町を活性化していくためには、有明沿岸道路を早く建設することが必要であると思っている。

議員 平成30年度に福富まで開通を予定し、まず先取りというかたちで、道の駅が整備されているが、その周辺についても、整備する必要が

あるのではないか。

生涯学習課長 福富マ일랜드公園については、野外ステージがある「イベント広場」と遊具の2つに分かれている。わんぱく広場については、平成13年度から14年度にかけて、現在あるターザンロープやブランコ、小さな滑り台等が組合わされたコンビネーション遊具が設置されている。

議員 干拓の水辺公園の遊水池の水をきれいにしたらよいと思うが。

農村整備課長 遊水池公園並びに水辺公園において、親水公園条例として、水辺空間に親しむ事を通して自然とのふれあいや交流の促進を図る目的で設置されており、遊水池については、泥土が溜まっており、環境面があまり良くないので、その辺の環境改善を推進したい。

議員 水辺公園にきれいな水が行くように

建設課長 泥土浚渫については、新明区長を含め地元役員、地元県議同席のもと現地での要望活動が行われた。河川管理者である、杵藤土木事務所から副所長をはじめ3名、建設課からも3

名が現地立会を行って。十分観察をしながら県へ要望していく。

議員 地沈水路

はきれいな水になっていて、遊水池上流の方が泥水のように。水質調査を実施しているのか。
生活環境課長 水質調査は、現在、白石町内47箇所で行っているが、その地点の水質調査は実施していない。
議員 県外から来た際に目立つ有明水路、只江川、この水質浄化をした方がよいと思うが。

生活環境課長 河川の水質については、小河川、小水路などに流れる家庭排水などが水質の汚濁の原因ではないかと思う。これについては、

住宅の密集地において、公共下水道の整備等を進めている。
農村整備課長 平成24年から嘉瀬川ダムの水



◆水辺公園

が来るようになったが、末端までは行き届かず難しいかと思う。

議員 我が町は、農業の町であり、農産物の在り方は、その周辺の小排水路等も浄化し、PRすることにより付加価値を付けるべきと思う。生活環境課と連携しながら積極的に取り組んでもらいたい。

6次産業推進専門監

白石町商工観光の部門に関しては、情報発信が不足していると思う。白石町には歴史や文化、そして物産等を含め、町



※ビオトープとは…
 生物社会(一定の組み合わせの種によって構成される生物群集)の生息空間

外に発信できる地域性がたくさんある。もっと積極的に情報発信していきたい。
議員 遊水池公園は、※ビオトープなどを活かすなど、田舎らしさも売りのひとつだと思いが。
農村整備課長 カヌーの練習で、一週間くらい使われている。ラジコンボート、ジェットスキーなどにも使われているようだ。また、軽飛行機の飛行場もあり、楽しまれている。PRについては、手が回っていないというのが現状です。



西山 清則 議員

問 白石の農業が輝けるような新たな作物等の栽培への取り組みは

答 新たな園芸作物が出てきた場合、大いに支援していく

議員 TPPについては、先般閣僚会合において大筋合意がなされ、今後、日本経済への影響、農業への影響、食の安全への影響など懸念されているがこれらを踏まえ、第一次産業中心のわが町としては、今後の農業のあり方をどう捉えているか。

産業課長 所得安定対策の要望を引き続き行う。第一次白石町総合計

取り組みに町はどのように関わっていくのか。
産業課長 女性や高齢者でも出来る体力的に負担の少ない農作物への展開を行なう人への支援、新たな園芸作物が出てきた場合、大いに支援していく。

議員 町の子もたちが、農業の魅力を知ることによって、後継者の育成にもつながり期待できると考える。

現在、取り組まれている事業や今後予定している事業はあるのか。

学校教育課長 郷土料理教室、レンコンの収穫体験、酪農体験、玉ねぎ収穫、とうもろこしの種まき・収穫など実施している。

教育長 農業は、白石の基幹産業であるので、そこに住んで生活していく中で子供たちにも、農業の良さ、すばらしさを、じかに体験させ、学び、考えさせることが大事だと思つ。

議員 農業試験研究センター白石分場は、干拓地の畑作営農技術、重粘土水田における野菜の生産安定と品質改善技術の確立を証明するために発足されている。しかし、分場の研究予算の確保・優秀な人材の確保・研究圃場の拡大など問題を抱えている。この分場を県下の野菜研究農場の拠点として活性化すべきだと思つが。

町長 今後、県農林水産商工本部に働きかけをしながら、新しい作物、白石町の土地にあったものは何かを、研究していただくように拡充をお願いしていく。

※総合計画とは…地方自治体が策定し、行政運営の指針となる総合的な計画



問 町内に硬式・準硬式野球のできる球場建設を

答 既存の施設について、使用ができるかを検討していく

議員 町が元気になるためには、スポーツの振興は不可欠である。そこで、スポーツのまち白石と宣言してはどうか。
生涯学習課長 今すぐにはスポーツのまち宣言ではなく、いろいろご意見を聞きながら考えていく。
議員 町内には、少年野球や、中学、一般社会人の軟式野球ができる施設はあるが、硬式野球ができる施設はない。県内でも限られている。そこで、白石町にも硬式準硬式野球ができる球場建設を検討してはどうか。
生涯学習課長 球場建設には多くの費用が掛かるので、既存の施設について使用ができるかどうかを検討していく。



◆福富多目的運動広場

問 自衛隊体験がされているが実施の考えがあるか

答 地元企業と町民の理解でキャリアアップに努める

議員 中学生の職場体験の成果と課題はどこにあるのか。また、近隣の市町では、自衛隊体験実習がされているが、今後本町でも実施の考えがあるか。

教育長 今年の中学2年生の職場体験学習は、春から準備を始め、夏に82箇所の事務所などで体験を実施した。その成果は、秋の文化祭で報告している。この職場体験学習



秀島 和善 議員

問 マイナンバー制度の凍結と中止を求める

答 町民の窓口での利便性と行政の効率化を促進する

議員 マイナンバー制度のメリットとデメリットはどこにあるのか。また、マイナンバー制度のセキリティはどのように保障されているのか。
町長 マイナンバー制度の「情報漏洩」などの問題も抱えているが、

問 TPP批准・締結に反対

答 本町農業への影響も出てくるもの

議員 TPPの批准・締結には断固反対の立場である。「TPP大筋合意」による農業への影響について、尋ねるが、「合意」内容はどのようになっているか。また、本町における影響額は把握しているのか。国会決議に違反する「合意」

議員 宝の海の再生へ向けて早期の諫早湾開門調査を実施するべきではないか

問 早期の諫早湾開門調査を実施するべきではないか

答 町も宝の海の再生へ向けて開門調査を

においても「農林漁業者が希望を持って働けるようにその実現を強く求める」との内容で特別決議をあげたところである。

※キャリアアップとは…より高い資格・能力を身につけること。



議員 宝の海の再生へ向けて早期の諫早湾開門調査を実施するべきではないか。諫早湾が締め切られて有明海に異変がおきている。タイラギ漁業はこの10年間ほとんどとれなくなり、魚貝類で生計を立てる漁業者はほとんどいない。組合に参加しているのは、有明ノリで生計を立てる漁業者に限られている。しかし、毎年赤潮の被害が発生して、今年の秋目ノリは3億5千万円の下落になっている。「日も早い開門調査が必要ではないか」
町長 県は、原因究明のための諫早湾開門調査を早期に実施するべきとの立場で行動している。町としても、宝の海の再生へ向けて開門調査をするべきだと考えている。国に対しては確定判決の即時履行を迫ってきました。11月2日にも農林大臣が来佐された折、直接「水産業を守り発展させる立場」で早期の開門調査をお願いした。



前田 弘次郎 議員

問 町の学力向上の取組は

答 「西部型授業」に取り組んでいる

議員 白石町としての学力向上への特徴的な取組みはあるのか。主任指導主事 本町では、小・中学校において、西部教育事務所...

答 迅速に柔軟に対応できるよう努めている

※西部教育事務所とは…県教育委員会が、西部地区の教育の充実のため設置した現地機関



問 町の今後の観光振興は

答 観光推進協議会の中で進めていく

議員 観光推進協議会の基本的な考えを伺う。

6次産業推進専門監 本町の特色ある地域や数多くの自然、景観、文化、歴史、産業、食の魅力など観光資源を活かした「観光まちづくり」のための将来像や基本方針を検討していく。

問 「道の駅」一体型のメリットは

答 道路管理者からの負担もありませんが、全体的な道の駅整備ができる

議員 道の駅基本計画の進捗状況は、どう進められているのか。

6次産業推進専門監 道の駅基本計画の策定にあたっては、「道の駅らしい」管理運営体制協議会「の意見を反映し策定することとしている。11月現在、協議会では、道の駅へのよう

方針を検討していく。そして、新たな観光資源の発掘や観光ルートの設定などを協議し、観光施策の実現に向けた行政の役割、民間業者の役割、町民の役割についても、意見を聴いていきたい。

な施設をどの程度の規模で設置するかを検討してきた。施設としては、駐車場、トイレ、情報発信施設、直売施設、飲食施設、防災施設などを配備することで計画をすすめている。

問 町内の工事についての住民への意向は

答 地元説明会を開催している

議員 町内で行う建設、水道工事について、対象地域の住民の皆さんへの意向等はどの様な方法で把握されているのか。

建設課長 道路改良工事については、まず地元説明会を開催し、概要を説明する中で、地元関係者からの各種意見や要望について把握を行っている。道路の補修等の維持工事については、通常、地元要望により工事計画をしております。駐在員を通じて地元からの意見等を把握している。また、工事発注後は、工事チラシを回覧等により、地元への周知を図っているが、その中で直接地元関係者からの意見を聴く場合もある。



◆町道高町百貫線

水道課長 水道事業については、水道メーターが個人の敷地内にあるので、どうしても個人の敷地に入ることになる。その際、事前の挨拶、打合せをして、工事に着手している。工事は、道路、又は、宅地内を掘削することになるので、車の出し入れ等に、できるだけ迷惑をかけないように、調整を行っているところである。

問 役場(各課)の連携した体制づくり

答 迅速に柔軟に対応できるよう努めている

議員 町長は、役場を単に行政事務を行う機関と考えるか、行政サービスを提供するサービス機関と考えるか。

町長 役場は住民の皆さんと直接つながっているので行政サービスを提供するサービス機関である認識している。職員にも役場はサービス機関であり、住民の皆さんに寄り添った行政サービスを住民

目線ではないか。ねばいけないと常々言っているところである。

議員 その町長の考えを職員に浸透させる具体的な方法は。

総務課長 全職員での朝礼や幹部職員の会議の場などで町長の考えは伝えられている。

議員 多様化する住民の要望や特定のプロジェクトに対し、課の垣根を越えて効率よく体制づくりはできているのか。

副町長 近年、行政に対する要望等については、合併時点では想像し得なかつたほど、急速に増大している。次々に打ち出される国の政策への対応もさることながら、住民の要望に

総合案内はお客様に気持ちよくお越しいただくために全職員が交代で案内にあたり、職員一人一人がプロとしての自覚を持って、お客様の案内をしたいと考える。そのためには、総合案内を含む全ての窓口対応のレベルアップを図るため研



◆笑顔でお出迎え 総合案内

修等により個人の資質の向上を図っていく。議員 役場庁舎の案内表示はわかりやすいものにする必要があると思うが。

企画財政課長 庁舎については、ユニバーサルデザインを取り入れた「人にやさしい庁舎」になるよう設計されている。しかしながら、案内表示がわかりにくい等の意見もある。今後とも要望等に応じて、一層利便性が図られるよう見直ししていく。

問 地域の資源を活かした「産業祭」の実施を

答 まちの活性化のため有効な手段を考える

議員 地域の資源を活かした「産業祭」の実施を。

6次産業推進専門監 現在3地域で季節ごとに祭を行っており、町民の皆さんの融和と地域の活性化、交流の場となっている。

問 適切な介護サービスを受けられる体制づくりは

答 地域で支える体制づくりの確立を目指す

議員 個別のケースを見極め適切なサービスを受けることができる体制づくりができていないのか。

長寿社会課長 町民の皆さんが自ら参加したボランティア活動など、地域包括ケアシステムへの体制づくりに取り組んでいる。

※地域包括ケアシステムとは…住み慣れた地域で、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるしくみ



んでいる。



内野さよ子 議員

問 須古隆城の史跡指定の状況は

答 調査対象が倍となり、平成30年度に延期された

議員 須古隆城の史跡指定についての状況を伺う。その状況によつては、国、県等へ積極的に働きかける必要があるのではないか。

生涯学習課長

城館調査は、平成15年に開始され、25年に完工された。

しかし、平成26年に調査対象(体制)の変更があり、予想を上回る、200%の調査地区となった。名護屋、東松浦地域が平成28年で完工する

ため、29年に選定、平成30年に文化庁より、諮問される予定である。

議員

観光資源を生かすために、観光案内人(ガイド)の育成をすることが重要であると考えているが。

生涯学習課長

平成28年度計画の中で、講座やガイドの育成を考えていく。

議員

歌垣公園・ロツジ等活用するためには、上水道の水資源確保が不

可欠であると思うが、何か方法はないのか。

水道課長

歌垣公園・ロツジ等の活用のためには水は不可欠である。しかし、白石配水場からの距離は、1.5km、高低差は140m、管路をひくとすると多額の費用が予想される。

6次産業推進専門監

上水道をつなぐと、使用頻度が少ないことから、管路内が滞留し、滅菌効果が薄れ、衛生的ではない。このため、地表水を濾過し、滅菌する方法があるが、繁忙期には絶対量が不足する事も予想される。飲料水の確保ができれば、公園の利用環境が向上する。

町長

安全面衛生面など考慮し、検討していく。

議員

歌垣公園、葬祭公園などへのアクセスの利便性を図るため、県道武雄く白石線の整備

等の状況を伺う。

建設課長

町道から県道へ昇格した後、整備促進期生会(武雄・白石)が発足し、整備が進められ、平成24年度で完了した。しかし、他の町道、林道等も含め、交通量の動向を見ながら、整備していく。

議員

整備は完了されたが、難合危険箇所があるため、歌垣祭りの一方通行については、他の林道の利用は考えられないのか。

6次産業推進専門監

祭り時の一方通行は検討していく。



◆県道武雄白石線

問 国民健康保険の健全な運営について

答 データ分析などを行い、医療の効率化を諮っていく

議員 国民健康保険について、委員会でも広島県呉市へ視察を行った。医療費の削減、医療の効率化等が行われていた。レセプトデータは課題もあると思うが、戦略的に活用するためのシステム導入の考えはあるのか。

議員

国民健康保険について、委員会でも広島県呉市へ視察を行った。医療費の削減、医療の効率化等が行われていた。レセプトデータは課題もあると思うが、戦略的に活用するためのシステム導入の考えはあるのか。呉市では平成20年より、レセプトデータ抽出により、①糖尿病性腎症等の重症化予防②医療機関への重複・頻回予防③生活習慣病の2次・3次予防・重複・禁忌・併用回避の指導などに活用されていた。呉市とはデータ抽出機能に違いはあるが、国保連合会KDBシステムの活用ができるようになり、本町においても住民健診等のデータ分析が可能になった。今後、

住民課長

10月時点で65.3%、県平均は60.3%である。今後も医師会、関係団体と情報交換、連携し、医療の効率化を図りたい。

※後発医薬品とは…(ジェネリック) これまで有効性や安全性が実証されてきた新薬と同等と認められた低価格なお薬



問 放課後児童クラブの育成環境の充実を

答 支援員の待遇の改善など環境を整備したい

議員 放課後児童クラブの充実について町長は、公約に児童保育の充実を掲げられ、今日までに有明西小学校、須古小学校の改築や、既存の学校施設の利用、書き対策にクーラーの設置など育成環境の整備、改善など対応されてきた。

今後、高学年児童の受け入れや配慮を必要とする児童の受け入れに對し、どのような対応を考えているか。

保健福祉課長

高学年児童については、今年度20名を受け入れている。また、配慮が必要な児童については支援員を増員して対応している。

議員

本年4月、保育から育成へと放課後児童クラブ運営指針が厚生労働省から発表され



問 六角川JR鉄橋の浸水予防・避難指示対策は

答 国・県へ要望し、災害情報伝達は的確に行う

議員 本年9月、茨城県常総市の鬼怒川で、大雨により堤防が決壊し甚大な被害がでた。全国では、どこでも同じ災害が起こる可能性がある。本町を流れる六角川のJR鉄橋の両側約60mの部分が堤防が低くなつており浸水対策が必要と考えるがその対策は。

建設課長

平成21年に堤防改修ブロック積み

町長

国道444号線住ノ江橋の堤防改修保全ができていますが、六角川JR鉄橋も同じように改修してもらいたい旨を早急に国へ要望

したい。議員 堤防決壊時に防災情報や避難指示が地域(集落)ごとに的確に伝わる仕組みづくりが必要であると考えている。

議員

本年5月に水防法等の一部を改正する法律が施工された。命を守る行動指南型の避難勧告に加え「状況情報」の提供による主体的避難の促進及び広域避難体制の整備等を目指し、防災情報の時系列での提供、情報を提供する区域の細分化による状況情報

の提供をおこなうようになったところである。六角川に隣接する集落は何箇所あるのか。情報伝達はどのようにしているのか。

総務課長

対象地域は白石地域で20箇所ある。今後の情報伝達はいろいろ検討していく。例えば個別受信機の設置、登録メール配信、電話応答システムの整備、ケーブルテレビ、ラジオ等、的確な伝達手段を考えていく。



◆六角川JR鉄橋



井崎 好信 議員

問 行財政改革プラン達成の程度は

答 36項目中、27項目である

議員 白石町行財政改革大綱が平成23年度に作成され今年度が最終年度となり改革プランを基に実行されてきているが、職員数を定員適正化計画で現在の284人から255人に削減されていく中で職員員のやる気意識改革が必要だと思いがどのように対応されていくのか。

議員 255人の根拠と規模が同等の他町と比較した場合どうなのか。また、人口が減少していく中で適正定員だと考えているのか。さらに今後、組織の機構改革の考えはあるのか。

総務課長 厳しい状況を見据え人材育成のため研修等への参加で資質改善し、レベルアップを図り能力を発揮できる効率的な職場環境を整えていく。

企画財政課長 全国標準団体を参考に財政シミュレーションをした上で合併協議会で検討された類似団体との比較では多くなっているが、本町の産業構造や保育園数の違い等で財政需要が多いため職員数も多くなっている。機構改革も段階的にやっていく。

企画財政課長

36項目



◆白石町行財政改革大綱・プラン

議員 行財政改革プランの達成の程度はどのようになっているのか。実施項目で地方債残高の抑制とあるが、町債の中で、ウエイトが高い過疎対策事業債の仕組みはどのようになっているのか。

議員 補助金等の整理合理化で実施項目である敬老祝い金の見直し未達成である。長寿祝い金が、現在80歳から5歳刻みで支給されているが、高齢化や寿命が

中、27項目達成し、一部達成が2項目、未達成が7項目である。過疎対策事業債は、まず全国へ入で枠が決定され、各都道府県に配分される。その後、県内過疎指定を受けている9市町の要望により配分される。なお、償還額の70%を、地方交付税算定時の需要額に算入され、有利な起債となっている。

町長 庁舎内部で議論をし、来年度予算編成の過程の中で、地域での延伸してきており見直しの考えはあるのか。

問 ロマンの地歌垣公園に恋人の聖地を

答 素晴らしい提案である

議員 三大歌垣に数えられるロマンある杵島山の歌垣公園に恋人の聖地として、モニュメントを作成して婚活事業の手助けにもなるような新たな観光名所を作つたらと思うが。

6次産業推進専門監

古代の時代に、若い男女が短歌で、お互いの思いを伝えあっていたことから、愛をテーマに三十一文字コンテストが続けられている。素晴らしい提案だと思つている。県内でも2箇所設置されているようであり、今後歌垣公園整備のひとこととして検討したい。



※「歌垣」とは…若い男女が自分の思いを歌に託して相手に伝え、結婚の申込みをする場だったとされています。杵島山でも、この歌垣が行われていたことが、『肥前国風土記』(奈良時代成立)に記録されています。

敬老会への補助金の拡充を含めて検討していく。

文教厚生常任委員会

先進地視察研修(地域包括ケアシステム、医療費適正化に向けた取り組み等)

11月10日から12日まで岡山県総社市、広島県呉市、山口県宇部市を視察した。岡山県総社市は人口は6万7820人の中核都市です。高齢化率は26.5%で人口は微増だそうです。平成17年の市町村合併に伴い「新総社市に望む地域ケアシステム」研究会が進められ、小地域ケア会議の設置が小学校区ごとに設置され、活動話し合いなされた。会議では地域の資源、課題が出され、それぞれの資源とのつながり、関係性などが再確認整理され、すすめられた。認知症対策の配置、生活支援員の配置などにより、総社市のネットワーク化が運営が行われていることに大変共感した。

2日目は広島県呉市の人口は23万4613人で国保加入者は5万1730人、医療の適正化・医療費の削減に向けた取り組みが進んでいることに驚いた。第4次総合計画では健康寿命の延伸、国民健康保険の健全運営が掲げられていた。運用において、レセプトのデータベース化により、レセプトから分析した保健事業の推進が積極的に行われていた。そしてジェネリック医薬



◆3日間みっちり勉強しました。

品の使用促進なされ、ジェネリック医薬品の切り替え率は84%と高く、平成26年度の効果額(医療費の削減)は2億412万4千円で驚いた。

3日目は山口県宇部市へ循環型社会の構築への取り組みについて視察した。宇部市の人口は16万9821人で炭田を基盤に化学工業が発展した町で総合計画にもとづき「環境」「安心」「市民力」「地域ブランド」のキーワードで進められていた。市内には事業所も多く資源化計画がそれぞれ作られて優良事業所の認定など行われていた。

それぞれ、白石町においても参考となるものが多く提案をしていきたい。

◆3日間みっちり勉強しました。

産業建設常任委員会

「道の駅」たくさんの取組みを研修

11月10日(火)から12日(木)まで、広島県庄原市(道の駅)と大分県臼杵市(アグリ起業学校)の視察研修を行った。

広島県庄原市高野町にある「道の駅たかの」では、準備から開業までの経緯や、管理運営協議会、直売所出荷者協議会の設立など様々な取組みについて勉強した。また、標高600mの山あい、のどかな風景が広がる場所に、年間40万人の来客者と、4億8千万円の売上の秘訣を尋ねた。当駅の経営方針は、「市民の主体的な参加による市民が創る道の駅」を掲げ、農業と観光を基軸とした地域の活性化が図られているとの、大変印象深い説明を受けた。今後、当町で予定されている道の駅構想に参考にされたい。

大分県臼杵市では、(アグリ起業学校)の事業について説明を受けた。一年間を基本に、主にピーマンの生産技術や経営など実践的な研修を行い、自立した農業経営者を育成することを重点にされていた。当町でも、本年10月から始まった「白石農業塾」とも共通しており、大いに参考になった。

最終日には、大分県と熊本県の道の駅を視察した。大分県にある、道の駅おおの、道の駅あさじ、道の駅竹田、道の駅おおやま、熊本県にある、道の駅小国の視察を行った。それぞれの道の駅では、地域の産物、特色を生かし、観光とも連携しながら、色々な工夫がなされていた。



◆「道の駅たかの」を視察大変勉強になりました。



◆とにかくハードな研修でした。



お知らせ 総務常任委員会は、日程の都合で2月に視察研修を予定しています。次回、報告いたします。お楽しみに…

最近の主な議員活動 10月1日～12月16日



月	日	曜	内容
10	1	木	しろいし農業塾開講式 議会だより編集委員会
	2	金	議会広報研修会
	5	月	市町村行政講演会(マイナンバー制度)
	7	水	第66回白石町教育研究会陸上競技大会
	8	木	西部教育事務所及び教育委員会学校訪問 議会だより編集委員会
	9	金	議員への説明会 議員例会 同和問題市町講座
	13	火	差別の現実学ぶ研修会
	14	水	学校訪問 まち・ひと・しごと創生総合戦略に伴う全員協議会
	23	金	学校訪問 太良町・白石町・鹿島市議員交流会
	25	日	白石中学校文化発表会

月	日	曜	内容
10	28	水	議会と老人クラブ連合会との意見交換会 学校訪問
	30	金	研究発表会
	31	土	白石地域文化祭(～11/1まで) 福富中文化祭 有明中文化発表会
11	2	月	学校訪問
	5	木	地域問題懇談会
	6	金	「人権教育推進事業」研究発表会
	8	日	有明文化まつり(7日～8日) 全員協議会 議員への説明会 議員例会
	9	月	さが西部クリーンセンター視察 西部教育事務所及び教育委員会学校訪問
	15	日	べったんご祭り
	24	火	西部教育事務所学校訪問
12	8	火	12月定例議会開会(～16日)
	16	水	議会だより編集委員会

みなさんの集まりに 私たち(議員)がおじゃまします

議会出前講座

10月20日(火)

下区老人クラブ(福富地域)50名ほどの会員さんがお集まりでした。

・パークゴルフ場、道の駅、地域おこし協力隊のことや、今後の農業後継者育成などに、たくさんの質問がありました。



左から 大串弘昭議員、岩永英毅議員、西山清則議員、溝口 誠議員

最後は雑談も含め、有意義な意見交換ができました。

10月2日(金) 福岡県 大木町議会から研修に来られました。

研修内容：町立保育園の公設民営化及び子ども子育て支援について

保健福祉課による説明が行われ、議会から白武悟議長と内野さよ子文教厚生常任委員長が質疑に応じました。



10月21日(水) 今度は、千葉県 横芝光町議会から研修に来られました。

研修内容：議会改革の取組み状況について

議会事務局が概要説明を行い、議会から白武悟議長と久原房義議会改革特別委員長、内野さよ子副委員長が質疑に応じました。



11月17日(水) またまた、北海道 余市町議会から研修に来られました。

研修内容：議会改革の取組み状況について

議会事務局が概要説明を行い、議会から片淵栄二郎副議長と久原房義議会改革特別委員長、内野さよ子副委員長が質疑に応じました。



全国の町議会でもよりよいまちづくりのために、改革に取り組まれているようです



左から 久原房義議員、川崎一平議員、片淵栄二郎議員、久原久男議員、吉岡英允議員

11月18日(水)

西郷老人クラブ(白石地域)30名ほどの会員さんがお集まりでした。

・西郷地区の堤防の危険箇所、児童公園のフェンス、地域の道路の現状や水路の水のことなど、たくさんの質問がありました。

活発な意見交換ができ、お昼を過ぎてしまいました。

議会ポスト ご意見紹介



○初めて、傍聴しました。町を身近に感じることができ、いい経験となりました。また、傍聴に来ます。

(40歳代 男性)

○全員の議員の方々の、一般質問があれば町の様々な声が聞けると思います。今後、期待しています。

(60歳代 女性)

ご意見ありがとうございました。